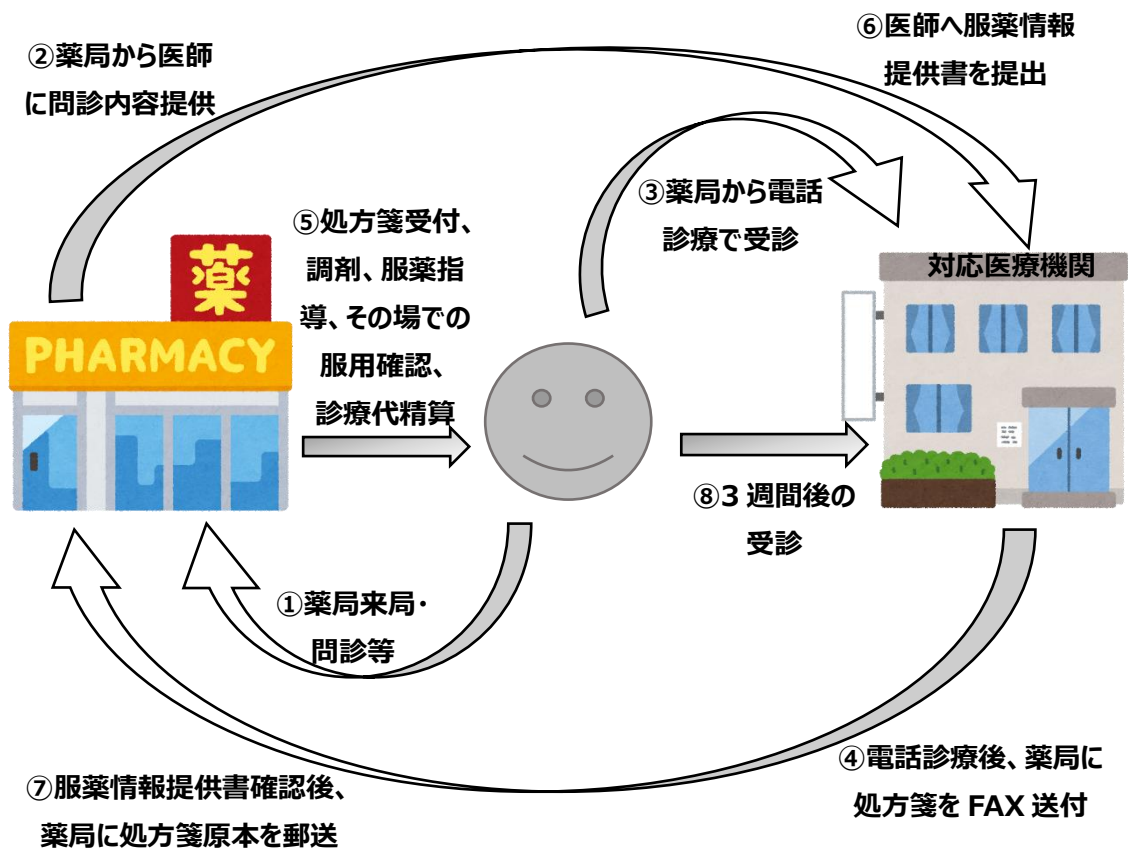


緊急避妊薬「豊中モデル」について

予期せぬ妊娠を防ぎたい女性において緊急避妊薬のニーズが高まる中、適切に対面診療を受けやすい体制整備も行う必要があるとされています。

この度、豊中市では、**対応薬局に直接行って緊急避妊薬を受け取り、服用できるシステム**を豊中市医師会、豊中市薬剤師会、豊中市保健所が三位一体となって、利便性の向上のみならず、アフターフォローも重視した緊急避妊薬「豊中モデル」として事業を開始することになりました。運用開始は2023年8月1日の予定です。豊中市内の対応薬局の一覧や緊急避妊薬相談窓口一覧については豊中市薬剤師会ホームページ内「緊急避妊薬「豊中モデル」について」のバナーからご確認ください。

「豊中モデル」事業 概略図



緊急避妊薬の調剤における薬剤師の対応手順

- ①処方箋及び情報提供文書の内容を確認する。
送信元が産婦人科以外の場合、処方医が研修を修了しているか確認する。
- ②患者がオンライン診療を受診した本人であることを確認する。
- ③患者の心理状態等に心を寄せて対応する。
- ④プライバシー空間の確保を心がける。
(場所(個室・パーティションの利用)、声の大きさ・トーンなど)
- ⑤調剤済みの薬剤と飲料水・紙コップなどを用意する。
- ⑥患者に禁忌を確認し、副作用などを説明する。
- ⑦患者が服用したことを確認する。
- ⑧処方医に薬局における対応内容について報告する。
- ⑨本手順書をチェックした上で、他の患者情報とともに保存する。

<⑤における説明内容>

- 服用後に嘔吐など副作用が起きた場合の対応を伝える。
- 約3週間後に産婦人科医による直接の対面診療を受診することを説明する。
※可能であれば、受診先医療機関を決めてもらう。
- 確実な避妊法について説明する。
- 何か質問があるかを聞き、適切に答える。

※対応した項目にチェックを付けること。

緊急避妊薬に関する服薬情報提供書（薬局薬剤師→医師）

年 月 日

情報提供先

医療機関名： _____ FAX 番号： _____

医師氏名： _____ 様

患者氏名： _____ 生年月日： _____ 年 月 日（ 歳）

【報告事項】

- 服用日時： _____ 年 月 日 AM・PM 時 分
- 禁忌事項について確認した。
- より確実な避妊法について適切に説明した。
- 約3週間後に産婦人科医による直接の対面診療を受診することを説明した。
- その他

対面診療を行う予定の医療機関名：

対面診療を行う予定の医師名：

薬 局 名：

薬剤師氏名：

所 在 地：

電 話 番 号：

F A X 番 号：